

【谷川俊太郎】さんの詩を今回も紹介します。時間があつたらB4の白い紙か画用紙を用意して、詩の順番にえをかいてみてはどうでしょうか？

えをかく

まずはじめに
じめんをかく
つぎには
そらをかく
それから
おひさまと
つきをかく
そうして
うみをかく
うみへながれこむ
かわと
かわのはじまる
やまをかく
もりをかく
もりにすむ

しかをかく
しかのはしる
のはらをかく
のはらにさく
はなをかく
はなにあつまる
あぶをかく
あぶをたべる
つばめをかく
つばめをつかまえる
たかをかく
かぜをかく
もをかく
くものかけをかく
じめんのしたの
もぐらをかく
いけのなかの
かえるをかく
なまえもしらない
くさのはをかく
ちいさな
いしころをかく

おおきなおおきな
ぞうをかく
くじらをかく
もういなくなつた
きょうりゆうもかく
とぐろをまいた
にしきへびもかく
ついでに
かばもかく
さかなをかく
やせたさかな
ふとつたさかな
とぶさかな
それから
かいといかをかく
めにみえない
たくさんの
ブランクトンをかく
ゆきをかく
こおりをかく
しもをかく
そうして
いろんな

あめをかく
ゆうだち
さみだれ
てんきあめ
ひさめ
まるさめ
おおあらし
みずたまりをかく
にじをかく
そのしたに
いっぽんのきをかく
ねつこと
みきと
えだと
はっぱと
はなと
このみと
そらへのびる
こずえをかく
そうしてやっと
ひとりの
こどもをかきはじめる

まずかおのかたち

ふたつのめ

ふたつのみみ

はな

くち

それにまゆげも

かみのけも

それから

からだ

うでとあし

かたとおなか

せなかとおしり

おへそとしんぞう

くびとゆび

はだか

ちよつとはずかしそうなら

パンツをかく

むぎわらばうしも

かいていい

そして

そのこのたっている

みちをかく

みちのはずれに

いっけんの

こやをかく

えんとつをかく

まどととびらをかいて

なかへはいり

おなべをかく

もえている

ひをかく

じやがいもと

ねぎをかく

おかあさんをかく

ふとんをかく

あかりをかく

テーブルと

いすをかく

とけいをかく

ながいはりと

みじかいはり

1をかく

2をかく

3と4をかく

567とをかく

89と10と11をかく

12をかく

ゆうべのゆめをかく

しにかけた

おとこ

もぎとられた

うで

ながれつづける

ちと

くさりはじめた

にくをかく

つむられた

めと

かわいた

なみだをかく

ひよつとこのめんをかく

おかめのめんをかく

ライダーのかめんをかく

わたがしをかく

べっこうあめをかく

あかやきいろの

プラスチックをかく

しちみとんがらしをかく

えんにちをかく

ぼんおどりをかく

あれはてた

たんぼをかく

しわくちやの

おばあさんをかく

いっぽんいっぽん

しわをかく

それから

えのどこかに

じぶんの

なまえをかく

そして

もういちまい

しろいかみを

めのまえにおく

まずはじめに

じめんをかく